

Break-through

打破！

ブレイクスルー

◆2学期を迎えて

小笠原村独自の緊急事態宣言を受けて2週間休校となったため、約2ヶ月という長い夏休みとなりました。今年の夏は新型コロナウイルス感染症予防のため、屋内で過ごすことが多かったかも知れません。この期間に生活リズムが狂ってしまった人はいませんか。夏休みの宿題や休校中の課題にはしっかり取り組みましたでしょうか。夏休みを振り返り、基本的な生活リズムや学習習慣が崩れてしまった人は早めに取り戻すことが大切です。まずは生活リズムを朝型に戻し一日でも早く学習習慣を取り戻しましょう。

9月13日(月)に予定されていた中間考査はなくなり、授業内で単元テストや小テスト等を実施することになりました。日時や詳細は教科の先生から連絡がありますので、よく聞いて準備しましょう。また、新学期を迎えるにあたり次のことを考えていきましょう。

1年生は、2学期から一気に学習内容の難易度が上がるので、これまで以上に意識を高めて日々の学習に取り組む必要があります。1学期に行ったGW学習記録プログラムや定期考査学習計画表を思い出し、家庭学習の取組を振り返ってみましょう。家での学習時間をいかに毎日継続して確保するか考え、学習ノートの内容を工夫するなどして、自分なりの家庭学習方法を見つけましょう。

2年生は、そろそろ中学校生活の折り返し地点となり、進路を具体的に考え始める時期に差し掛かります。夏休みの宿題では学校調べを行いました。上級学校について、少しイメージが湧いたでしょうか。「進学や就職はまだ先」と思わず、「こんな自分になりたい」という将来の姿を探していきましょう。学校生活では、もうすぐ小笠原中学校の中心となって動く立場となります。これまで以上に忙しくなるので、学習と部活動、家庭生活等の生活バランスをうまく取りましょう。

3年生は、部活動や委員会等で学校の代表として活躍し、そのバトンを後輩に渡す時が近付いています。何かに本気で取り組んだ結果は、勝ち負け以上に、自身の達成感や自信に繋がっていくはずです。これから本格的な受験期に入りますが、自ら行動し、時にはきついことにも向き合い、克服した経験を学習姿勢にも生かしましょう。進路希望がはっきりした今、あとは自分の実力を最大限に伸ばせるよう全力で励むのみです。将来を見据えて深く考え、勇気をもって進みましょう。

◆働くとは

2学期の総合的な学習の時間では、1年生は「働く人の話を聞く会」、2年生は職場体験に向けた学習、3年生は進路に関わる書類の作成準備等、キャリアに関する学習が始まります。今学期は、1人1人が自分の進路や将来に向けて深く考えたり行動を起こしたりする時です。

学校以外でも、自分が仕事についてどのように向き合っていくかについて考えたり、「働くこと」について知り、保護者の方や友達、先生方と話す時間をもってもらえればと思います。

小笠原中学校図書室にある参考文献

- ・仕事ファイル①～⑦
- ・なりたい職業ガイドブック
- ・職場体験完全ガイド
- ・おしごと年鑑
- ・仕事の図鑑
- ・13歳のハローワーク
- ・メディア業界ナビ
- など

